

第40期特別記念展

医師・医学者の書展

令和8年8月7日(金)~11月29日(日)
(お盆休み:8月13日~15日)

江戸から近代へと、医学を通じて
時代を切り拓いていった、
医師・医学者の書を展覧します。

「解体新書」序図



杉田玄白



河野青洲



松本良順

小原道城書道美術館

札幌市中央区北2条西2丁目 札幌2・2ビル2階

入館料: 300円 (大学生以下無料) 休館日: 月曜日

ART
GALLERY
HOKKAIDO
アートギャラリー北海道

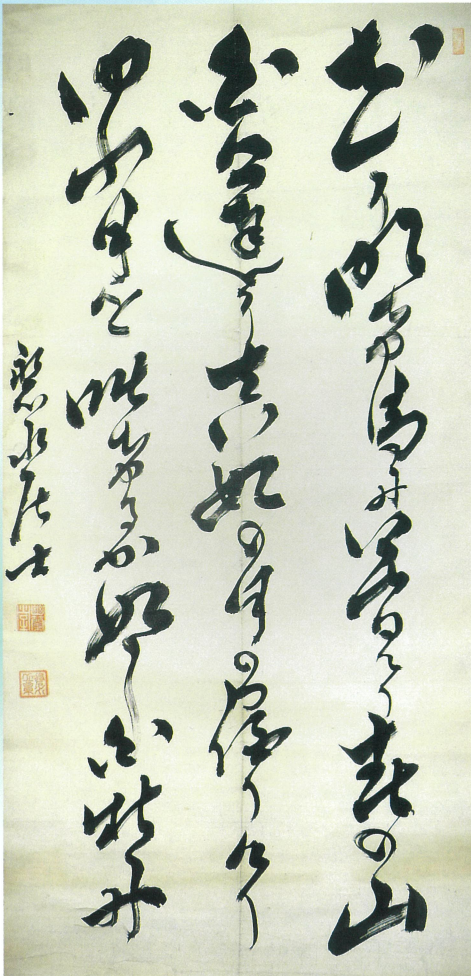
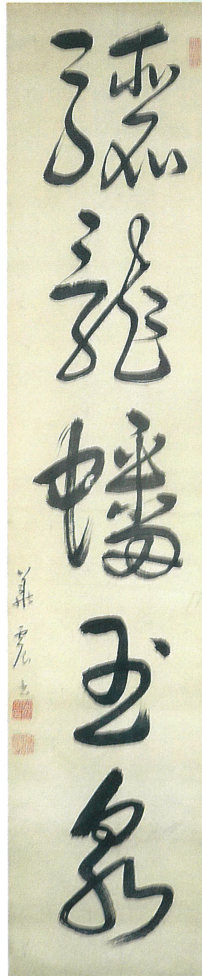
江戸期から近代に至る期間の、医師・医学者の書を展覧します。

江戸期の医師・医学者は、儒学を基礎とする「儒医」が多かったようです。その医学は、中国由来の漢方医学が主流でしたが、親試験を標榜した吉益東洞などの古方派、様々な考えを包摂する和田東郭らの折衷派、西洋医学を紹介した杉田玄白らの蘭方派、西洋の学術知識を取り入れた華岡青洲などの漢蘭折衷派などが興りました。

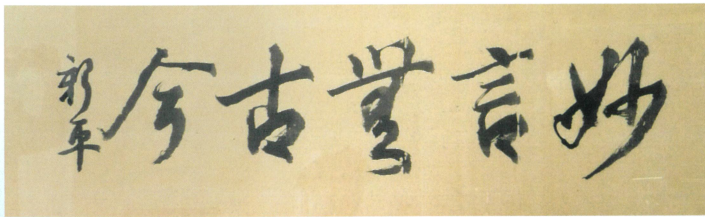
医学の実践的な側面は、合理的科学的思考を養い、産科医賀川玄悦による胎児の正常胎位の発見や、華岡青洲による麻酔薬の発明と全身麻酔による乳癌手術は、江戸時代我が国医学の二大貢献と称されています。

蘭方医学は初期の医学書翻訳から、シーボルト、ポンペらによる本格的な臨床医学の指導、更には種痘の導入普及を通じて、一気に医学の近代化へと向かっていきました。またこれに伴い、諸科学や社会全体の近代化へと、新たな時代を切り拓いていく二大原動力ともなっていきました。本展では、貝原益軒から齋藤茂吉に至る、江戸から近代までの時代を担った医師・医学者二十九名四十六点の書を展覧し、彼らの素養や趣味、また医学や人間に対する見方・考え方などを窺います。

華岡青洲「驪龍蟠玉泉」



後藤新平「妙言無古今」



大槻玄沢「花に明け…」

こはらどうじょう
小原道城書道美術館
 〒060-0002
 札幌市中央区北2条西2丁目41
 札幌2・2ビル2階
 お問い合わせ先：011-552-2100
 入館料：300円（大学生以下無料）
 開館：午前10時～午後5時
 休館：毎週月曜日
 交通：JR札幌駅より徒歩5分、
 地下鉄さっぽろ駅・大通駅より各徒歩5分

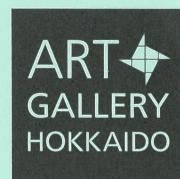


小原道城書道美術館 第40期特別記念展

会期 令和8年8月7日(金)

11月29日(日)

休館日：毎週月曜日、お盆休み（8月13日～15日）



アートギャラリー北海道

医師・医学者の書展

江戸期から近代に至る期間の、医師・医学者の書を展覧します。

江戸期の医師・医学者は、儒学を基礎とする「儒医」が多かったようです。その医学は、中国由来の漢方医学が主流でしたが、親試実験を標榜した吉益東洞（しよきとうとう）などの古方派、様々な考えを包摂する和田東郭（わだとうかく）らの折衷派、西洋医学を紹介した杉田玄白（すぎたげんぱく）らの蘭方派、西洋の学術知識を取り入れた華岡青洲（はなおかせいしゅう）などの漢蘭折衷派などが興りました。

医学の実践的な側面は、合理的科学的思考を養い、産科医賀川玄悦（かがわげんえつ）による胎児の正常胎位の発見や、華岡青洲による麻酔薬の発明と全身麻酔による乳癌手術は、江戸時代我が国医学の二大貢献と称されています。

蘭方医学は初期の医学書翻訳から、シーボルト、ポンペラによる本格的な臨床医学の指導、更には種痘の導入普及を通じて、一気に医学の近代化へと向かっていきました。またこれに伴い、諸科学や社会全体の近代化へと、新たな時代を切り拓いていく一大原動力ともなっていきました。

本展では、貝原益軒（かいげんえきけん）から齋藤茂吉（さいとうもきち）に至る、江戸から近代までの時代を担った医師・医学者二十九名四十六点の書を展覧し、彼らの素養や趣味、また医学や人間に対する見方・考え方などを窺います。

■小原道城書画展

淡墨、金文、草書など、さまざま大字書が目を楽しませます。
そして艶やかな秋菊図もぜひ御覧ください。

■中国拓本展

北魏の鄭道昭の伸びやかでゆったりとした磨崖の楷書を中心に、同時代の龍門の固く鋭い造像記の楷書も展示します。

◆醫師・医学者の書 展◆(第一・二・四室)

(第一室)

展示 一 貝原益軒一

春嬌最何物 桃花與楊柳…

(128×29)

二 祇園南海

身無遺憾常安枕 室有餘間自煮茶

(106×20)

三 本居宣長

文章不朽愛長卿 濁酒百杯歡我情…

(101×19)

四 ① 風もおさまる世のかきりなき…

① 風もおさまる世のかきりなき…

(27×17)

五 帝掬崑崙雪 置之扶桑東…

帝掬崑崙雪 置之扶桑東…

(三者短冊合幅 各36×17)

六 藍水遠從千澗落 玉山高並兩峯寒

藍水遠從千澗落 玉山高並兩峯寒

(136×27)

七 盤者意也 意生於學 方無古今 要期乎治

盤者意也 意生於學 方無古今 要期乎治

(131×28)

八 碧霞臺上碧霞蒸 羽客瓊樓十二層…

碧霞臺上碧霞蒸 羽客瓊樓十二層…

(54×81)

九 相逢面非初 相別地亦隣…

相逢面非初 相別地亦隣…

(132×49)

一〇 遶灣布置兩三家 垂柳陰濃日色遐…

遶灣布置兩三家 垂柳陰濃日色遐…

(132×29)

一一 名園數畝種春筠 淡雨梳風不蒸塵…

名園數畝種春筠 淡雨梳風不蒸塵…

(28×53)

一二 和園數畝種春筠 淡雨梳風不蒸塵…

和園數畝種春筠 淡雨梳風不蒸塵…

(28×53)

(第二室)

展示 一三 淺田宗伯

未向家園賦去歸 暫迎故舊弄春暉…

(102×59)

一四 欺人雄略曹孟德 絕代文章蘇子瞻…

欺人雄略曹孟德 絕代文章蘇子瞻…

(135×33)

一五 拍々羽聲鳧鴨嬉 御溝煙水漾輕漸…

拍々羽聲鳧鴨嬉 御溝煙水漾輕漸…

(134×30)

一六 卜居倉子城 聊欲養餘生…

卜居倉子城 聊欲養餘生…

(118×34)

一七 詩入畫圖中

詩入畫圖中

(135×30)

一八 曾從金穴試翻僊 素羽玄睛已是僊…

曾從金穴試翻僊 素羽玄睛已是僊…

(132×55)

一九 醫之臨疾病 視元氣所能如何耳

醫之臨疾病 視元氣所能如何耳

(108×24)

二〇 奢者富而不足 何如儉者貧而有餘…

奢者富而不足 何如儉者貧而有餘…

(133×34)

(ショーウィンドウ内)

展示 二一 杉田玄白

醫事不如自然

(複製 116×27)

(作品寸法…縦×横、単位cm)

- 二二 大槻玄沢 花に明け青に暮けり春の山…
 - 二三 華岡青洲一 乘彼白雲至於帝郷
 - 二四 二 驪龍蟠玉泉
- 参考展示：杉田玄白から華岡青洲宛て書簡（複製）

- 二五 佐久間象山一 蕩々萬斛船 影若搖白虹…
- 二六 二 偶然睽物累 薄言罷驅馳…

（第四室）

- 展示二七 江馬天江一 ①天地精華、④一聲初鴈至 霜信入籬色…

- 二八 二 ②窮迫有命更何尤 只要齊修心自求…

- 二九 三 三秀祥芝不可無 數莖寫入歲朝圖

- 三〇 一 獨座蟲聲中 孤燈鎖秋院…

- 三一 二 踈影月移壁 寒聲風滿堂

- 三二 一 雲含雨意壓嶙峋 溪水無橋不辭泮…

- 三三 二 讀書萬卷果何媒 咲對青山又舉盃…

- 三四 二 山浦轉灣西又東 亂峯幽谷幾窮通…

- 三五 一 瓜步早朝吞建業 蒜山晴雪照揚州

- 三六 一 經過九十里程來 舊識山河當面開…

- 三七 一 博生舍

- 三八 一 寧用宏才羨馬斑 辞官初得一身閒…

- 三九 二 爐邊颯々松風起 茶熟香殘着火紅…

- 四〇 一 風流滿眠醉浮榮 舉世唯誇戰勝名…

- 四一 二 成名每在窮苦日 敗事多因得意時

- 四二 一 妙言無古今

- 四三 二 忙人致此亦須閑

- 四四 一 對病者唯可視其病、勿顧貴賤貧富…

- 四五 一 ひむかしはあけほのならむ…

- 四六 二 いつしかも月の光はさし居りて…

（七者合作 1 5 7 × 50）

（二者合幅 各 16 × 27）

（1 3 5 × 43）

（1 3 1 × 52）

（34 × 43）

（1 3 5 × 32）

（1 3 0 × 59）

（1 3 6 × 33）

（1 3 6 × 32）

（1 3 8 × 34）

（横装 30 × 1 2 1）

（1 2 6 × 32）

（1 1 8 × 40）

（1 3 7 × 38）

（1 1 8 × 31）

（扁額 35 × 1 1 7）

（1 1 5 × 40）

（1 3 3 × 34）

（35 × 6）

（額装 36 × 6）

(シヨークース内)

江戸期の医学書 十二種

『養生訓』、『類聚方』、『漫遊雜記』、『産論・産論翼』、
『瘍科方笈』、『瘍科秘録』、『解体新書』、『内科撰要』、
『医範提綱』、『医戒』、『扶氏経験遺訓』、『七新書』

◆小原道城書画 展◆(第三室)

展示四七	小原道城一	遊游	(双幅 各 1 3 6 × 68)
四八	二	隨事遷、感慨係之矣：	(1 3 5 × 34)
四九	三	得霜鷹	(双幅 各 1 3 8 × 67)
五〇	四	秋叢繞舍似陶家：	(画 1 7 8 × 65)
五一	五	鳳鳴朝陽	(二曲屏風 1 2 0 × 1 2 0)
五二	六	不動	(1 3 7 × 68)

◆中国拓本 展◆(第三室)

拓本一	北魏・東堪石室銘	(1 7 4 × 1 2 5)
拓本二	北魏・鄭義上碑(五一一年)	(2 6 3 × 1 0 8)
拓本三	北魏・始平公造像記(四九八年)	(91 × 38)
拓本四	北魏・上遊天柱下題字	(69 × 75)
拓本五	北魏・雲峰山右闕題字	(59 × 1 0 8)

小原道城書道美術館

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西2丁目41番地 札幌2・2ビル2階

お問い合わせ先=日本書道評論社 (TEL 011-552-2100)

[入館料] 300円 (大学生以下無料)

[開館時間] 午前10時～午後5時

[休館日] 毎週月曜日・年末年始・お盆休み・作品の展示替えの期間

[交通] JR札幌駅より徒歩5分、地下鉄さっぽろ駅・地下鉄大通駅より徒歩5分

協賛/日本書道評論社